

防災に関するアンケート結果の概要

1. 目的

県民総ぐるみ運動の行動目標（案）を「命を守るために、県民自らが、災害の危険性等を知る、災害発生をいち早く察知する、判断して適切に行動する、災害を学ぶ、災害に備える」としている。今後、それぞれの目標に向けた取組を検討する上において、現在の県民の実態を把握する。

2. 調査の設計

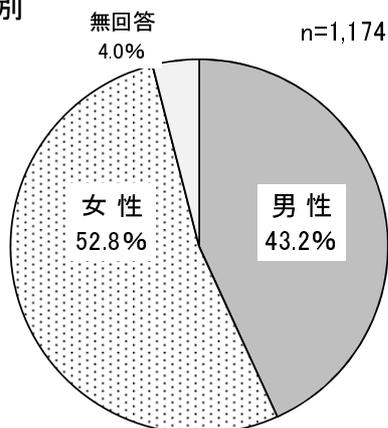
- (1) 調査地域 広島県全域（広島市を除く）
- (2) 調査対象 県内在住の満20歳以上男女
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 層化2段無作為抽出法(選挙人名簿により抽出)
- (5) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査実施期間 平成26年11月25日（火）～12月12日（金）

3. 回収結果

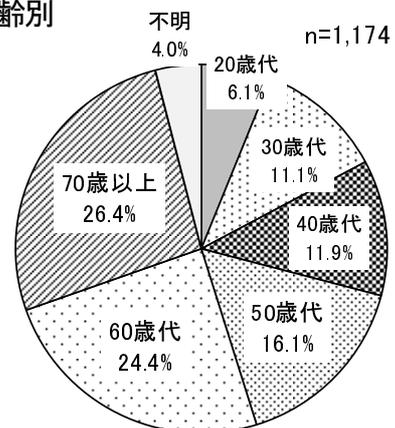
- (1) 有効回収数 1,174票
- (2) 有効回収率 58.7%

4. 回答者属性

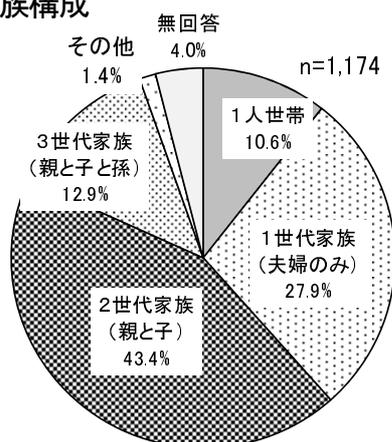
(1) 性別



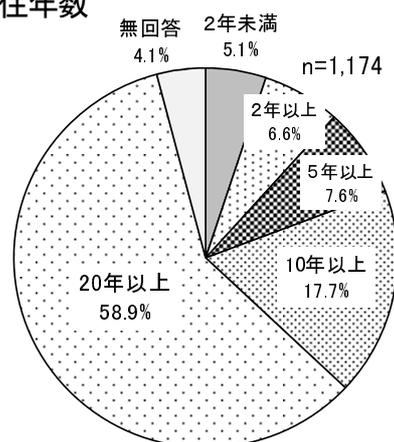
(2) 年齢別



(3) 家族構成



(4) 居住年数



5. アンケート結果（抜粋）

(1) 災害の危険性等を「知る」

—— ハザードマップなどで地域の危険性を確認したことの有無 ——

【質問】あなたは、インターネットサイト※1や配布されたハザードマップ※2などで、お住まいの地域に地震、津波、洪水、高潮、土砂災害などの危険性があるかどうかを確認したことがありますか。〔それぞれ〇は1つ〕

※1 インターネットサイトとは、「広島県防災web」で県が公開している「土砂災害ポータル」、「高潮・津波災害ポータル」や市町のホームページなど

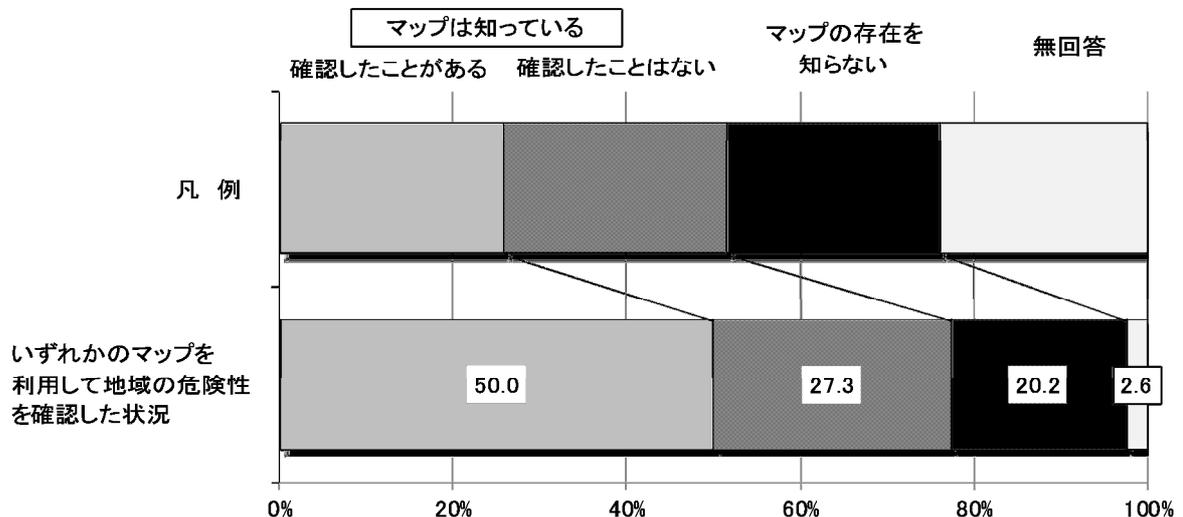
※2 ハザードマップとは、自然災害の危険が予想される範囲や避難場所などの防災情報を示した地図のこと

項 目	マップは知っている		マップの存在を知らない
	確認したことがある	確認したことはない	
1. 県の防災Webまたは市町のホームページなどインターネット(Web)上で公開しているハザードマップ	1	2	3
2. 市町が紙に印刷して配布したハザードマップ	1	2	3
3. 地域住民が独自に作成した防災マップ	1	2	3



【集計結果】

- ・ 「インターネット(Web)上で公開しているハザードマップ」、「市町が紙に印刷して配布したハザードマップ」、「地域住民が独自に作成した防災マップ」のいずれか1種類でも **「マップは知っている」は77.3%**
そのうち、地域の危険性を「確認したことがある」は50.0%
- ・ **「マップの存在を知らない」が20.2%**



—— 避難場所・避難経路の確認状況 ——

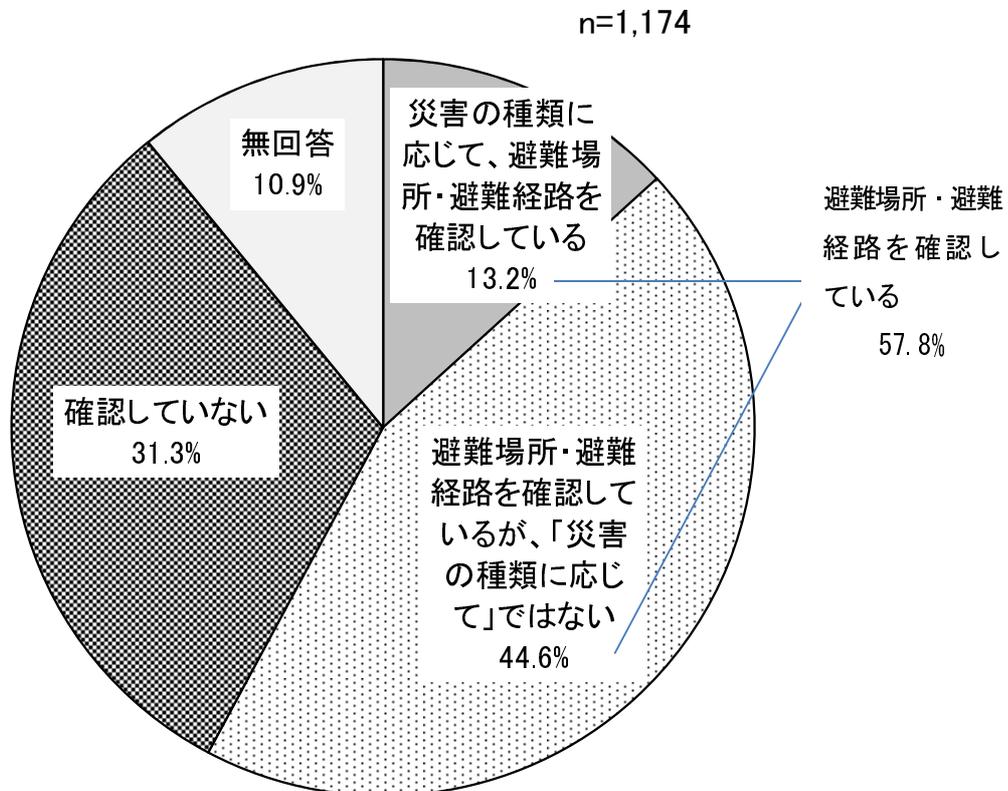
【質問】 あなたは、お住まいの地域の避難場所・避難経路を、災害の種類（地震、土砂災害、高潮等）に応じて確認していますか。〔〇は1つ〕

- 1 災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している
- 2 避難場所・避難経路を確認しているが、「災害の種類に応じて」ではない
- 3 確認していない



【集計結果】

- ・ 『避難場所・避難経路を確認』できている人は57.8%
- ・ そのうち、**「災害の種類に応じて、避難場所・避難経路を確認している」が13.2%**
「避難場所・避難経路を確認しているが、「災害の種類に応じて」ではない」が44.6%
- ・ **「確認していない」が31.3%**



(2) 災害発生をいち早く「察知する」

——『現在の雨量の情報』の入手方法——

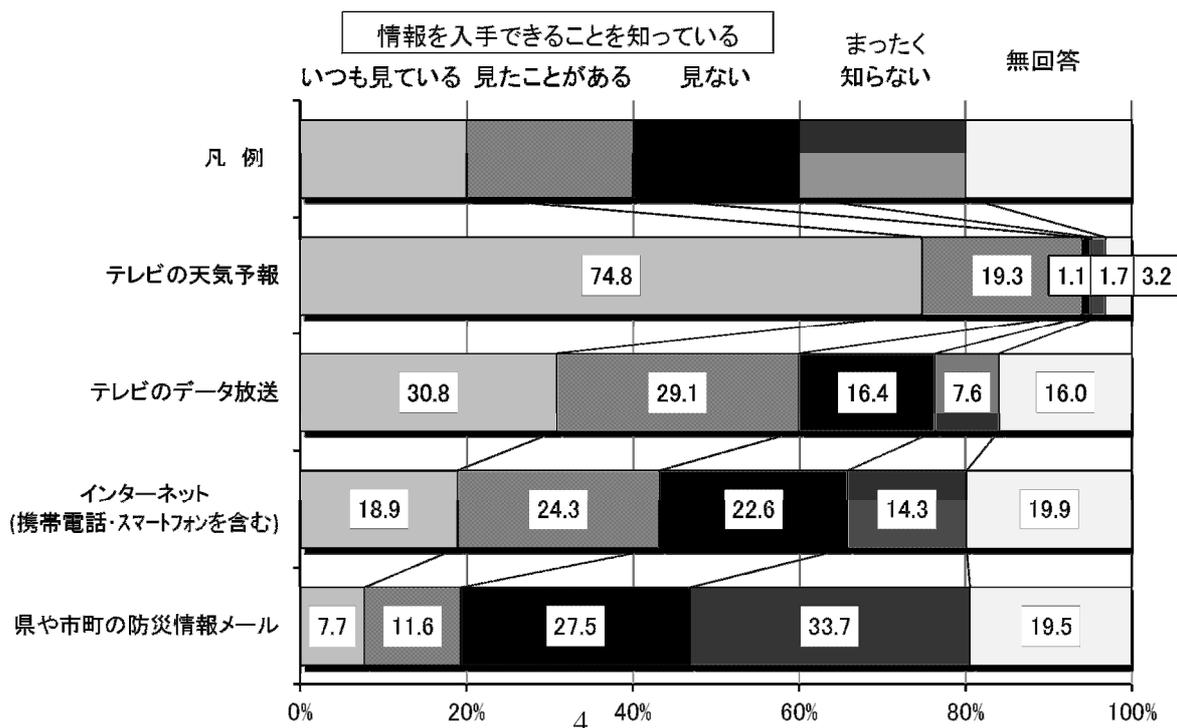
【質問】 あなたは、大雨や台風の際に、お住まいの地域の『現在の雨量の情報』を、どこから入手しますか。〔それぞれ〇は1つ〕

項目	情報を入手できることを知っている			まったく知らない
	いつも見ている	見たことがある	見ない	
1. テレビの天気予報	1	2	3	4
2. テレビのデータ放送	1	2	3	4
3. インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)	1	2	3	4
4. 県や市町の防災情報メール	1	2	3	4



【集計結果】

- ・ 地域の雨量をいつも見ているのは(複数回答)
 - 「テレビの天気予報」 74.8%
 - 「テレビのデータ放送」 30.8%
 - 「インターネット(携帯電話・スマートフォンを含む)」 18.9%
 - 「県や市町の防災情報メール」 7.7%
- ・ 「県や市町の防災情報メール」で情報を入手できることを知らない人 33.7%



(3) 「判断」して適切に「行動する」

—— 大雨や台風の場合の行動開始時点 ——

【質問】大雨や台風の場合、あなたはどの時点で判断して行動を開始しますか。〔〇は1つ〕

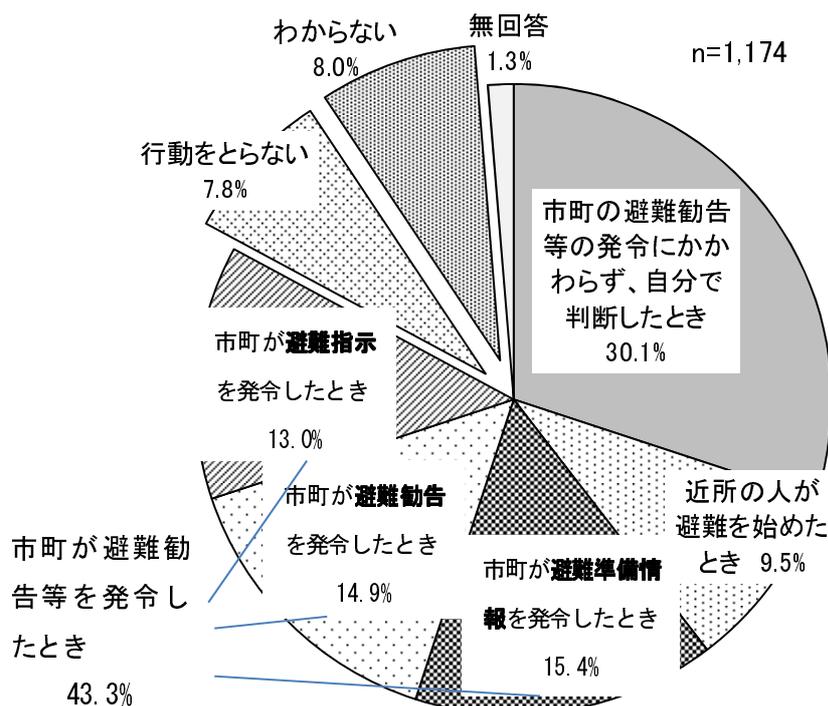
「行動」とは避難場所へ行く、友人宅へ行く、自宅の上階などに移動するなどすべての避難行動を含みます。

- 1 市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき
- 2 近所の人が始めたとき
- 3 市町が避難準備情報を発令したとき
- 4 市町が避難勧告を発令したとき
- 5 市町が避難指示を発令したとき
- 6 行動をとらない
- 7 わからない



【集計結果】

- ・ 「市町の避難勧告等の発令にかかわらず、自分で判断したとき」が30.1%
- ・ 市町が避難勧告等を発令したときの合計は43.3%
 - そのうち、「市町が避難準備情報を発令したとき」が15.4%
 - 「市町が避難勧告を発令したとき」が14.9%
 - 「市町が避難指示を発令したとき」が13.0%
- ・ 「行動をとらない」が7.8%、「わからない」が8.0%



(4) 災害を「学ぶ」

—— 地域や職場での防災活動参加状況 ——

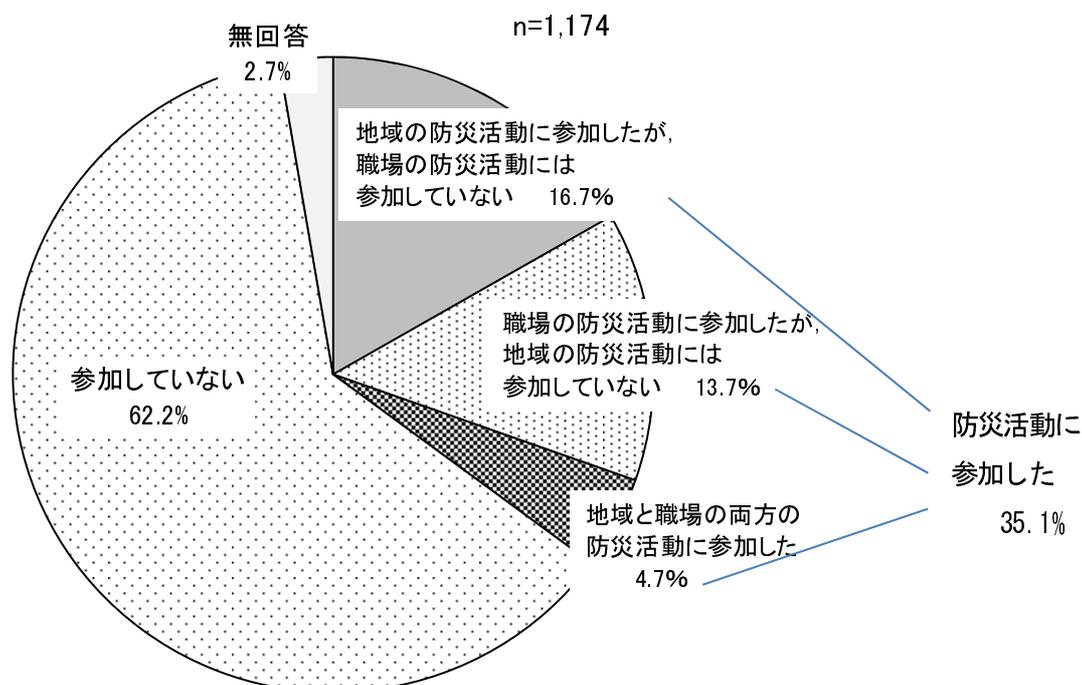
【質問】 あなたは、過去1年間に、地域や職場で防災活動(防災教室や防災訓練等)に参加したことがありますか。〔〇は1つ〕

- 1 地域の防災活動に参加したが、職場の防災活動には参加していない
- 2 職場の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない
- 3 地域と職場の両方の防災活動に参加した
- 4 参加していない



【集計結果】

- ・ 『**防災活動**』に参加している割合は**35.1%**
- ・ そのうち、「地域の防災活動に参加したが、職場の防災活動には参加していない」が16.7%
「職場の防災活動に参加したが、地域の防災活動には参加していない」が13.7%
「地域と職場の両方の防災活動に参加した」が4.7%
- ・ 『**参加していない**』が**62.2%**



(5) 災害に「備える」

—— 災害に備えて行っていること，災害に備えて重要であると思うこと ——

【質問】 あなたは，災害に備えて次の各項目を行っていますか。また，災害に備えるために重要であると思われますか。〔それぞれ〇は1つ〕

項 目	行っ て い る	行っ て い な い	⇒	重要 で あ る	重要 で な い
1. 懐中電灯，携帯ラジオ，医薬品等非常持出品を用意する	1	2	⇒	1	2
2. 3日分以上の食料・飲料水を備蓄する	1	2	⇒	1	2
3. 災害時における家族内の連絡方法を定める	1	2	⇒	1	2
4. 家具の転倒防止，または倒れやすい家具を置かない	1	2	⇒	1	2
5. 町内会・自主防災組織に加入する	1	2	⇒	1	2



【集計結果】

- ・ 「懐中電灯，携帯ラジオ，医薬品等非常持出品を用意する」が52.8%
- ・ 「家具の転倒防止，または倒れやすい家具を置かない」が31.8%
- ・ いずれの項目においても，災害に備えることは『重要である』と思っているが，それが行動に結びついていない状況にある。

